

令和4年度 公金管理実績について

本県では、調達・運用の統一的な指針となる「公金管理指針」を策定し、発行条件の多様化や運用方法の拡大など、効果的・効率的な公金管理を推進しています。

1 資金調達

(1) 調達の基本方針

- ・ 調達先の多様化により安定的な資金調達に努めるとともに、金利動向等を勘案しながら定時償還の拡充や引き合いの積極的な実施などに取り組み、将来の利子負担の削減を図る。

(2) 令和4年度の取組

① 定時償還方式による市場公募債の発行

将来の利払い額を削減するため、平成29年度から20年定時償還方式による市場公募債を発行（R4：100億円）

- ・ 定時償還方式の場合の利払い額：5.0億円
- ・ 従来方式（満期一括）の場合の利払い額：7.8億円



将来の利子削減効果額
総額 2.8億円

② 引き合いの積極実施

複数の金融機関からの借入金利の見積合わせの積極的な実施により、利払い額を削減

- ・ R4年度引き合い額：245億円
(R3：344億円)



将来の利子削減効果額
総額 2.1億円

【用語解説】市場公募債：広く投資家に購入を募る方法により調達した資金

2 資金運用

(1) 運用の基本方針

基金・「ラダー運用」(期間20年)により、金利変動に対応しつつ、安定的な収益確保を図る
歳計現金等・収支計画を日々修正し、極力残高不足が生じないよう2週間～1年間の運用を行う

(2) 令和4年度の取組

- ・ 基金については、期中平均残高が増加したが、運用収入は減少。運用利回りについても前年度より減少。
- ・ 歳計現金等については、期中平均残高、運用収入は減少。運用利回りについては前年度より増加。

《令和4年度実績》

資金名	期中平均残高(千円)	運用収入(千円)	運用利回り
基金	133,230,956	305,497	0.229%
歳計現金等	24,435,283	905	0.004%
合計	157,666,239	306,402	0.194%

《参考：令和3年度実績》

資金名	期中平均残高(千円)	運用収入(千円)	運用利回り
基金	111,984,814	308,935	0.276%
歳計現金等	35,786,564	1,139	0.003%
合計	147,771,378	310,074	0.210%

【用語解説】基金：条例等の規定に基づき、特定の目的の支出に備えて積み立てている資金

歳計現金：県の歳入及び歳出に係る現金

期中平均残高：4月1日から3月31日までの日々の残高の平均値

ラダー型運用：毎年一定額が償還されるように、短期から長期まで、残存期間の異なる債券等にほぼ同額ずつ投資し、償還金額を毎年最も長い年限に再投資する手法